



事例紹介

佐賀県神埼市立 脊振中学校

基礎基本の定着にeライブラリ！



神埼市立脊振中学校では、タブレットPCを使って基礎基本の定着にeライブラリのドリルを活用しています。今回は馬場先生が担当する2年生の英語科の授業の様子をご紹介します。

授業 基礎問題を徹底的に繰り返す

● タブレットタイムのスタートはドリルから！

この日は2年生のUnit4の授業で、導入で洋楽を歌ったりクラス全体でイディオムを確認した後に、**タブレットタイム**としてeライブラリのドリルを行いました。

タブレットタイムがスタートすると、生徒たちは先生の指示のもと、Unit4の単元の中から挑戦したい教材を選んでドリル問題に取り組みました。生徒たちはタブレット操作に慣れている様子で、問題を拡大したりしながらテンポよく解き進めていました。



● 集中の10分ドリル

ドリル学習は**学習内容の定着をねらい**とし、**10分の制限時間を設けて**行っています。ドリル問題は基本問題を中心として、何度も繰り返し行うことで**基礎基本を身につけていきます**。

生徒たちはわからない問題ではヒントを確認したり、間違えた問題も解答解説を確認しながら100点を取るまでリトライをしていました。10分間という時間制限を設けることで、時間内で多くの問題を解こうと集中力が高まるそうです。



● ドリルなら何度も繰り返し諦めない

「プリントの問題だと生徒が飽きてしまうこともあります、eライブラリだと終了時間まで諦めずに集中して頑張っており、**学習意欲が持続**しています。特に今の生徒たちはパソコンが大好きなので、**生徒の嗜好に合った学習方法だと思います**」と馬場先生。

6時間目の午後の授業ということもあり、普段はこの時間になると疲れた様子を見せる生徒もいるそうですが、この日の生徒たちはタブレットで学習できる嬉しさもあってか、100点を取ると小さく「よしぃ！」と呟きながら楽しそうに取り組んでいました。



▲ 先生は生徒のつまずきをフォローします

● ドリルからタブレットの活用に繋げる

ドリルの後は英作文です。生徒は自分の「夢」についてまずは日本語で考え、その後わからない単語などをデジタル辞書を使って調べながら、英文を完成させていきます。

タブレットタイム①はeライブラリで定着の時間、タブレットタイム②は辞書機能を使った活動の時間と、授業のねらいに合わせて効果的にタブレットを活用していました。



● 思考力・判断力・表現力の育成に

脊振中学校ではドリルによる個別学習で、重要な語句などの知識を身につけながら、学習活動の充実を目指しています。

さらにドリルによる学習以外にも、生徒同士による意見交換や発表資料の作成、小学校との交流行事での意見集約など、主体的に学び合う活動を通じ、生徒たちの思考力・判断力・表現力の育成を進めています。



運用 脊振タイムでの活用

● 授業の内容を定着させる時間として

脊振中学校では6限分の授業を通常より5分短い45分とし、取り出した5分を30分にまとめて7限の「脊振タイム」とする、特色あるカリキュラムを行っています。脊振タイムでは国数理社英の5教科を中心に『基礎基本の定着』を目的としたスキル学習を行い、学びの基礎となる学力の補充を目指しています。

英語科の脊振タイムがある日は、授業を教科書中心に進め、脊振タイムではeライブラリを使って授業の復習問題をするなど、授業と連動させて使っているそうです。

問題

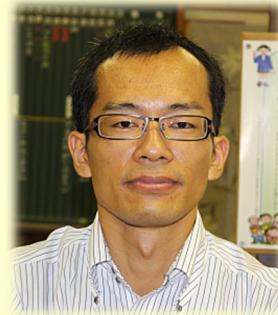
次の日本語を英文に直すとき、空欄に適する1語を下の欄に入れなさい。
彼女は新しい辞書を買う必要はありません。

She () have to buy a new dictionary.
doesn't

▲ 英語のスペルを入力する問題に挑戦



情報担当 馬場 健太 先生のお話



馬場 健太 先生

eライブラリは授業の中盤や脊振タイムの中で「基礎基本の定着と復習」という位置づけで活用しています。プリントと違い、タブレットでのドリル学習は生徒のやる気を刺激し、生徒たちから「タブレットタイムをお願いします！」「もっとやりたい！」と声が上がるほど、学習意欲に繋がっています。

eライブラリの一番の良いところは、基礎基本を楽しく学べることです。問題数が多く、たくさんの問題にチャレンジすることができ、短い時間の中でも生徒たちが「満点取れた！」と達成感や充実感を味わうことができます。

今後はリスニングドリルやゴー！ゴー！サンセットタウンなどの英語教材を取り入れたり、学習履歴を有効活用したり、生徒がより意欲を持って楽しく学べる授業を実現させていきたいと考えています。